

## 第 43 期 1stQ 技術部会スピーチ

2015 年 5 月 15 日

### 『勝つべくして勝つ』

ラジオでとてもいい話を聞きました。ビジネスに絡む話なのでシェアしたいと思います。『私の疲労解消法』というテーマでリスナーから情報を募る番組構成でしたが、あるリスナーの体験談がシビレル内容でした。その人は日雇いバイトでコンサート会場の設営作業という重労働を朝からずっとやってくたくたになっていたそうです。作業が終了し、疲労困憊で楽器搬入段階に入った現場をバイト仲間 10 数人とへたり込んで眺めていると、楽器を運んでいた男性がトコトコ歩いてきてすぐ隣にストンと座るなり語りかけるように歌いだしたそうです。みんな何が起こったか一瞬解らなくなって啞然としてしまいました。なぜならその男性がその夜の主演であるブルース・スプリングスティーンだったからです。さぞかし疲れが吹き飛んだことでしょう。ブルース・スプリングスティーンを名前しか知らないという人のために少し説明しますと、アメリカロック界でボスと呼ばれ若いミュージシャンからも畏怖と尊敬の対象となっている大御所中の大御所です。

この話をラジオで聞いたときは私もこんな気遣いのできる人物になりたいものだなと感動したのですが、日経ビジネスオンラインで『明石家さんまのすごい理由』という記事を読んでまた少し違った洞察を得ました。明石家さんまの一流たる所以は徹底した下準備にあると書いてありました。天才的な話術があるから売れっ子なのだと思いますが、番組スタッフとの徹底した摺合せで自分の意思や感覚をスタッフに理解させていることや出演者の履歴などをキチンと調べておくことなど準備に手を抜かない姿勢をずっと続けているところが一流の仕事ができる理由だと書いてありました。番組収録前の出演者とのウォーミングアップトークもキチンとやっていたり、50 分間の番組に対して 2 時間 15 分も収録して編集を徹底的にやっていたりなど業界の通例からするとそこまでやるのかというくらい手抜きなしだとのこと。天才ですから取れだか高いはずなのに、関西の業界では普通 50 分番組に対して 1 時間 15 分ほどのところ、その倍近くも収録する。これが勝つべくして勝つ仕事というわけです。

ブルースが会場設営でへとへとになったアルバイトのために歌ったのはもちろん気遣いもあるのですが、ブルースにしてみればスタッフ一丸となってコンサートを成功させようと他でもいろんなところで色々な準備を手抜きなしでやっているのだらうと思いました。下準備の作業は、平凡な人にもできるレベルの事だと思いますが、一流の人がすごい

はその地味な作業をどんなに忙しくても手を抜かず何年も何十年も続けているところであり、そこが勝ち組と負け組を分ける線であると思います。20年以上の長寿番組の司会やロック界のレジェンドになれる人は才能もさることながら手を抜かずに努力している、勝つべくして勝っているということだと思います。私も見習いたいと思います。一緒に頑張りましょう。